

# 第 52 回 有機典型元素化学討論会プログラム

会期 2025 年 12 月 4 日 (木) ~ 6 日 (土)

会場 つくば国際会議場

主催 第 52 回有機典型元素化学討論会実行委員会

協賛 日本化学会・日本薬学会・有機合成化学協会・基礎有機化学会

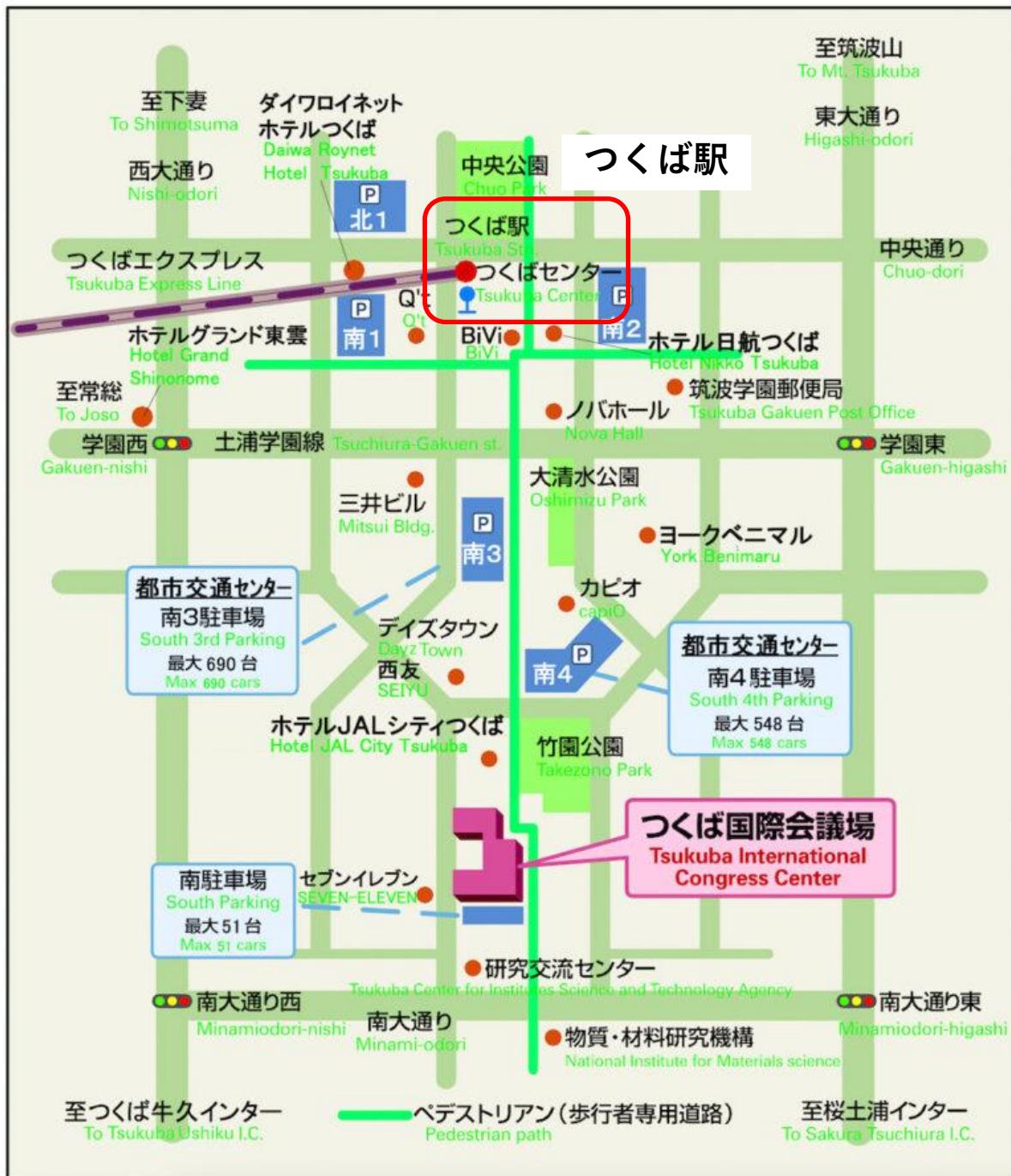
発表時間 特別講演 45 分  
若手講演 25 分  
口頭発表 18 分 (発表 13 分・質疑 4 分・交代 1 分)

\*がついている口頭発表およびポスター発表は、それぞれ学生講演賞およびポスター賞の審査対象発表です。

## プログラム骨子

2025年12月4日(木)		2025年12月5日(金)		2025年12月6日(土)	
9:00~9:20	受付	9:00~10:12	口頭発表 (6) O-20 O-21 O-22 O-23	9:00~10:12	口頭発表 (10) O-35 O-36 O-37 O-38
9:20~09:30	開会式				
9:30~10:42	口頭発表 (1) O-01 O-02 O-03 O-04	10:12~10:20 10:20~11:10	休憩・ポスター準備 @多目的ホール (前半: 奇数番号)	10:12~10:25 10:25~11:01	休憩 口頭発表 (11) O-39 O-40
10:42~10:50	休憩				
10:50~12:02	口頭発表 (2) O-05 O-06 O-07 O-08	11:10~12:00	(後半: 偶数番号)	11:01~11:15 11:15~12:00	休憩 特別講演 (I-3) 昼食
12:02~13:30	昼食	12:00~13:20	昼食 (座長昼食会@会議室202)	12:00~13:20	口頭発表 (12) O-41 O-42 O-43 O-44
13:30~14:06	口頭発表 (3) O-09 O-10	13:20~13:56	口頭発表 (7) O-24 O-25	13:20~14:32	
14:06~14:31	若手講演 (Y-1)	13:56~14:21	若手講演 (Y-2)	14:32~14:40	休憩
14:31~14:40	休憩	14:21~14:30	休憩	14:40~15:34	口頭発表 (13) O-45 O-46 O-47
14:40~15:52	口頭発表(4) O-11 O-12 O-13 O-14	14:30~15:42	口頭発表 (8) O-26 O-27 O-28 O-29	15:34~16:00	閉会式・表彰
15:52~16:00	休憩	15:42~15:50	休憩		
16:00~17:30	口頭発表 (5) O-15 O-16 O-17 O-18 O-19	15:50~17:20	口頭発表 (9) O-30 O-31 O-32 O-33 O-34		
17:30~17:40	休憩	17:20~17:30	休憩		
17:40~18:25	特別講演 (I-1)	17:30~18:15	特別講演 (I-2)		
		18:30~20:30	懇親会@多目的ホール		

## つくば国際会議場までのアクセス



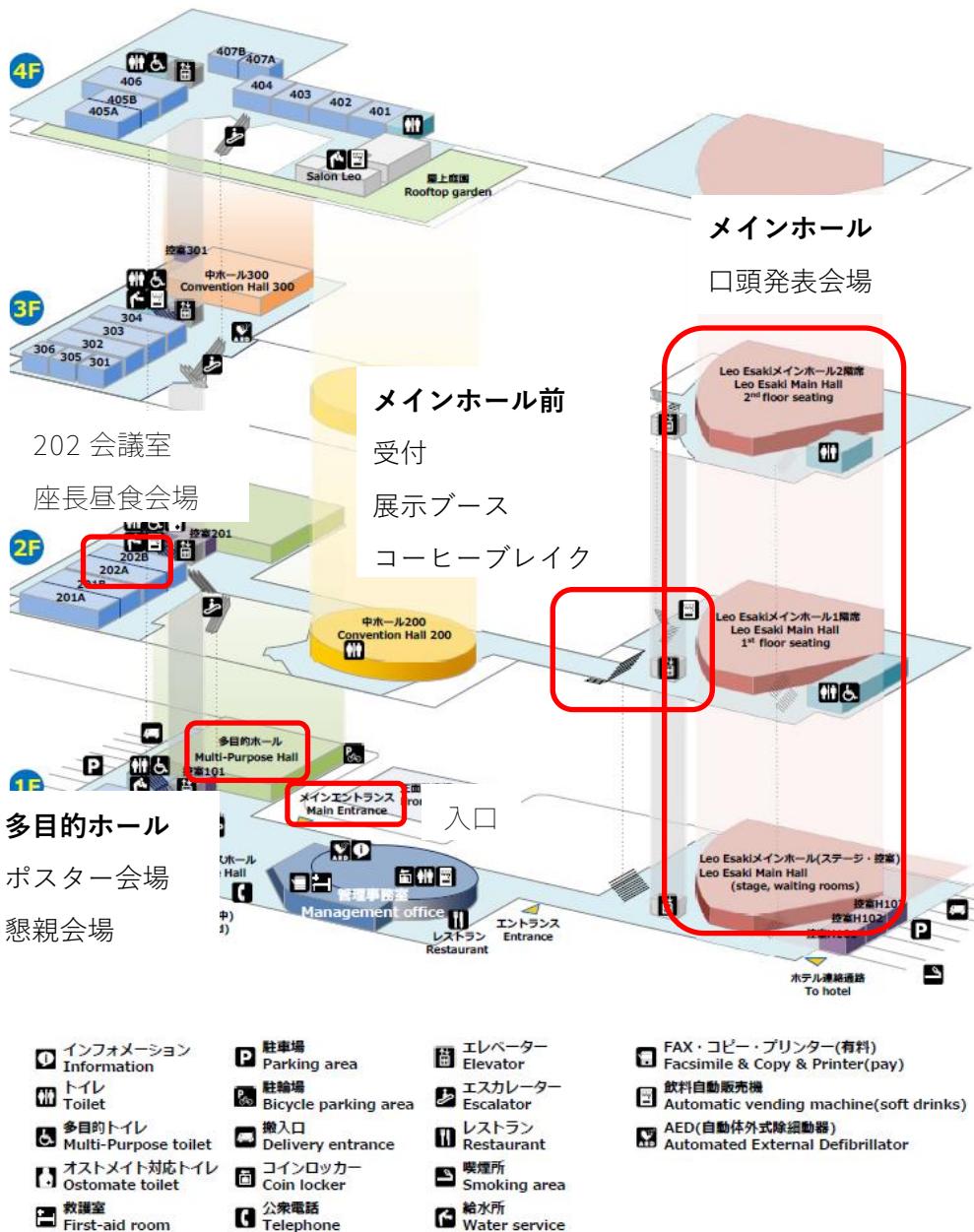
■ つくば駅付近のランチマップです。



[https://www.tsukucen.com/\\_files/ugd/518425\\_f9501d92bc6848b29396e8f8d82e7e17.pdf](https://www.tsukucen.com/_files/ugd/518425_f9501d92bc6848b29396e8f8d82e7e17.pdf)

## つくば国際会議場フロアマップ

### Tsukuba International Congress Center Floor outline



- 口頭発表会場（メインホール）、ポスター発表会場（多目的ホール）では以下のWi-Fiをご使用いただけます。  
SSID: **mgec2025** password: **maingrouplement**
- クロークはございません。大ホールのテーブルの下にスペースがございますので、そちらを利用して各自で管理をお願いします。

## 第1日目 (2025年12月4日 木曜日)

9:20 - 9:30 開会式

座長	岩本武明	(東北大学)
O-01*	9:30 - 9:48	ビス(メチレン)- $\lambda^5$ -ホスファンアニオンを活用した種々の低配位リン化合物の合成 (筑波大院数理物質 <sup>1</sup> ・筑波大数理物質・TREMS <sup>2</sup> ) ○野元彬弘 <sup>1</sup> ・ 菅又功 <sup>1,2</sup> ・笹森貴裕 <sup>1,2</sup>
O-02*	9:48 - 10:06	金(I)触媒分子内環化反応によるホスファベンゾヘプタレン誘導体の合成およびその性質 (阪公大院理) ○小村明寛・津留崎陽大・神川憲
O-03*	10:06 - 10:24	有機アンチモン(I)化合物の選択的合成と性質 (近畿大理工 <sup>1</sup> ・京大化研 <sup>2</sup> ) ○川瀬結里有 <sup>1</sup> ・太田圭 <sup>1</sup> ・生馬翔太郎 <sup>1</sup> ・ 菅原清人 <sup>1</sup> ・仲程司 <sup>1</sup> ・水畠吉行 <sup>2</sup> ・松尾司 <sup>1</sup>
O-04*	10:24 - 10:42	イミノホスホナミドクロロシリレンとリチウムアリールアミド類との反応 (埼玉大院理工) ○宮原哉太・渡邊亮太・太田圭・中田憲男
	10:42 - 10:50	休憩
座長	斎藤雅一	(埼玉大学)
O-05*	10:50 - 11:08	Dibenzo-phospha-BODIPY の合成検討 (京大化研) ○高橋慶多・山田容子・水畠吉行
O-06*	11:08 - 11:26	ケイ素で構成されたブタジエンアニオンおよび関連化合物の骨格異性化反応 (東北大院理) ○石川朋樹・赤坂直彦・石田真太郎・岩本武明
O-07*	11:26 - 11:44	Pd-Cu 触媒系によるチオエステルとトリメチルシリルジアゾメタンからの $\alpha$ -チオエノールシリルエーテルの合成法 (東理大創域理工) ○竹内隆貴・石田健人・坂井教郎
O-08*	11:44 - 12:02	単一光触媒を用いたケイ素化反応による新規有機ケイ素化合物の合成法の開発 (東大院薬) ○鈴木萌音・永島佑貴・内山真伸
	12:02 - 13:30	昼食

座長	松尾司	(近畿大学)
O-09*	13:30 - 13:48	ケイ素原子の特性を活用したヒドリド転位型 C(sp <sup>3</sup> )-H 結合官能基化反応の開発 (東農工大院工) ○大川広登・高須賀(川崎)智子・森啓二
O-10*	13:48 - 14:06	触媒的 Si-O 結合アルキル化によるテトラメトキシシランの効率的変換 (阪公大院理 <sup>1</sup> ・JST さきがけ <sup>2</sup> ) ○吉川政範 <sup>1</sup> ・北村功樹 <sup>1</sup> ・松坂裕之 <sup>1</sup> ・亀尾肇 <sup>1,2</sup>
Y-1	14:06 - 14:31	超原子価結合を利用したπ共役系化合物の光学特性制御 (京大院工) ○権正行
	14:31 - 14:40	休憩
O-11*	14:40 - 14:58	四塩化チタンによるホスフィン-電子酸化によるホスフィンラジカルカチオンの生成 (長岡技大院工) ○當麻佑哉・戸田智之
O-12*	14:58 - 15:16	1原子欠損型完全平面芳香族化合物 TriQuinazoline の合成と物理化学的特性精査 (慶大院薬 <sup>1</sup> ・微化研 <sup>2</sup> ) ○櫻井拓也 <sup>1</sup> ・堤亮祐 <sup>1</sup> ・熊谷直哉 <sup>1,2</sup>
O-13*	15:16 - 15:34	λ <sup>5</sup> -ホスフィニン類の新規官能基化法の開発 (愛媛大院理工) ○池田流星・弘光美羽・太田英俊・林実
O-14*	15:34 - 15:52	チオフェノールおよびアニリン等価体合成のためのアラインの二官能化反応の開発 (東理大院先進工) ○田端慎也・吉田優
	15:52 - 16:00	休憩
座長	三宅由寛	(兵庫県立大学)
O-15	16:00 - 16:18	ポリマーにおける一次構造の包括的制御を実現するビニルポロン酸モノマー設計 (京大院工 <sup>1</sup> ・JST さきがけ <sup>2</sup> ) ○西川剛 <sup>1,2</sup> ・鈴木宏史 <sup>1</sup> ・金澤共晃 <sup>1</sup> ・大内誠 <sup>1</sup>
O-16*	16:18 - 16:36	カルバモイルラジカルの Giese 付加による N 型糖ペプチドの合成 (京大院薬 <sup>1</sup> ・産総研 <sup>2</sup> ) ○明野純也 <sup>1,2</sup> ・高須清誠 <sup>1</sup> ・生長幸之助 <sup>2</sup> ・深谷訓久 <sup>2</sup> ・上田善弘 <sup>2</sup>
O-17	16:36 - 16:54	動的分子回転に基づくマルチ刺激応答型円偏光発光材料の開発 (日大院生産工 <sup>1</sup> ・近大院総理工 <sup>2</sup> ・日大生産工 <sup>3</sup> ) ○佐竹未有 <sup>1</sup> ・鈴木太哉 <sup>2</sup> ・小野純護 <sup>2</sup> ・今井喜胤 <sup>2</sup> ・池下雅広 <sup>3</sup> ・津野孝 <sup>3</sup>

O-18*	16:54 - 17:12	<i>N</i> -ヘテロサイクリックカルベン骨格を含むピンサー型配位子を有する 鉄窒素錯体の合成ならびに触媒的アンモニア及びヒドラジン生成反応 (東大院工) ○須藤皓平・田辺資明・西林仁昭
O-19	17:12 - 17:30	ホスフィン-金(I)錯体の電子線誘起反応を利用した金クラスター形成 過程の原子分解能実時間観察 (NIMS <sup>1</sup> ・東科大 ASMat <sup>2</sup> ・埼玉大院理工 <sup>3</sup> ) ○原野幸治 <sup>1,2</sup> ・ 狩野太暉 <sup>3</sup> ・丸山武行 <sup>3</sup> ・木本浩司 <sup>1</sup> ・斎藤雅一 <sup>3</sup> ・古川俊輔 <sup>3</sup>
	17:30 -17:40	休憩
座長	内山真伸	(東京大学)
I-1	17:40 - 18:25	超原子価ハロゲン化合物の超脱離能を活用した未踏不安定中間体の発 生、未踏反応の開発研究 (慶應大薬) 宮本和範

## 第2日目（2025年12月5日 金曜日）

座長	仲程司	(近畿大学)
O-20*	9:00 - 9:18	セレノピリウム塩の合成とルイス酸触媒としての利用 (福岡大理) ○堀田茉那・長洞記嘉
O-21*	9:18 - 9:36	2分子ピンサー型イミノスルファンカルボン配位子を有する6核および8核銀錯体の合成とその構造 (日大生産工) ○野口桂子・藤井孝宜
O-22*	9:36 - 9:54	分子クレードルを活用したセレノシスティンと活性窒素種ニトロキシルとの相互作用に関するモデル研究 (Science Tokyo 理) ○藤崎滉・鍬野哲・後藤敬
O-23*	9:54 - 10:12	安定かつ無臭なP-Sアダマンタン型新規硫化剤の創製とチオアミド合成 (筑波大院数理物質 <sup>1</sup> ・筑波大睡眠研究機構(WPI-IIIS) <sup>2</sup> ) ○小柳瑞貴 <sup>1,2</sup> ・須貝智也 <sup>1,2</sup> ・沓村憲樹 <sup>1,2</sup>
	10:12 - 10:20	休憩・ポスター準備
	10:20 - 11:10	ポスター発表@多目的ホール (前半：奇数番号)
	11:10 - 12:00	ポスター発表@多目的ホール (後半：偶数番号)
	12:00 - 13:20	昼食（座長昼食会@会議室202）
座長	中田憲男	(埼玉大学)
O-24*	13:20 - 13:38	近接したアルキン部位を有するホウ素含有大環状分子の渡環光環化付加反応 (名大院理 <sup>1</sup> ・名大RCMS <sup>2</sup> ・九大IMCE <sup>3</sup> ・名大IRCCS <sup>4</sup> ・名大ITbM <sup>5</sup> ) ○濱田安宏 <sup>1</sup> ・坂井美佳 <sup>2</sup> ・塩田淑仁 <sup>3</sup> ・山口茂弘 <sup>1,4,5</sup>
O-25*	13:38 - 13:56	ガリウム1価錯体へのヨウ化アリールの可視光駆動型酸化的付加反応 (阪大院工 <sup>1</sup> ・阪大ICS-OTRI <sup>2</sup> ) ○向井虹渡 <sup>1</sup> ・岩崎草太 <sup>1</sup> ・兒玉拓也 <sup>1,2</sup> ・鳶巣守 <sup>1,2</sup>
Y-2	13:56 - 14:21	典型元素を含むπ電子系の超分子重合における新展開 (名大IRCCS) ○大城宗一郎
	14:21 - 14:30	休憩

座長	後藤敬	(東京科学大学)
O-26*	14:30 - 14:48	(ボリル)(シリル)カルコゲニドの合成・構造・性質 (学習院大理) ○水野伊織・高橋慎太郎・狩野直和
O-27*	14:48 - 15:06	1,4-ジチインを拡張したラダー型ポリチアアセン類の合成と酸化還元特性 (北里大院理) ○平田翔也・上田将史・真崎康博・長谷川真士
O-28*	15:06 - 15:24	アミド基をもつテトラフェニル-2,7-ジアザピレンの合成および性質 (兵庫県立大院理 <sup>1</sup> ・名大院工 <sup>2</sup> ・東北大多元研 <sup>3</sup> ・香川大創造工 <sup>4</sup> ) ○新井翔 <sup>1</sup> ・小田原正浩 <sup>2</sup> ・芥川智行 <sup>3</sup> ・原光生 <sup>4</sup> ・忍久保洋 <sup>2</sup> ・ 岩永修 <sup>1</sup> ・三宅由寛 <sup>1</sup>
O-29	15:24 - 15:42	ホウ素骨格で構築した二次元ネットワーク材料の合成と機能開発 (阪大院工) ○神戸徹也
	15:42 - 15:50	休憩
座長	山下誠	(東京科学大学)
O-30*	15:50 - 16:08	Push-Pull構造を有する有機πラジカルの合成と酸化還元特性 (都立大院都市環境) ○遠藤尚輝・伊藤正人・久保由治
O-31*	16:08 - 16:26	[2.2]パラシクロファン部を有する有機ホウ素錯体キラル結晶の“T字型”エキシマー蛍光 (阪公大院工 <sup>1</sup> ・阪公大RIMED <sup>2</sup> ・奈良女大院自然科学 <sup>3</sup> ・リガク <sup>4</sup> ) ○入井駿 <sup>1</sup> ・大垣拓也 <sup>1,2</sup> ・松本有正 <sup>3</sup> ・佐藤寛泰 <sup>4</sup> ・松井康哲 <sup>1,2</sup> ・池田浩 <sup>1,2</sup>
O-32*	16:26 - 16:44	溶媒制御によるパーフルオロアレーンの位置選択的C-F結合官能基化 (山口大院創成) ○浦恭瑛・新田恭之・岡村俊孝・西形孝司
O-33	16:44 - 17:02	チオフェン化合物を用いた光カチオン重合開始剤の開発 (株式会社トクヤマデンタル) ○三宅秀明
O-34	17:02 - 17:20	ケイ素酸素結合を利用した効率的な環化反応の開発 (京都工芸繊維大学) ○岩本貴寛・天野蒼太・中井智絢・佐久間美月・ 井本裕顕・中建介
	17:20 - 17:30	休憩
座長	山口茂弘	(名古屋大学)
I-2	17:30 - 18:15	親水性ポリシリセスキオキサンの合成と応用一分離膜と防曇膜 (広大院先進理工系) ○大下淨治
	18:30 - 20:30	懇親会@多目的ホール

## 第3日目（2025年12月6日 土曜日）

座長	狩野直和	(学習院大学)
O-35	9:00 - 9:18	単離可能アルキルアミノメチレンケテンイミンの合成、電子状態、および多様な反応形式 (東北大院理 <sup>1</sup> ・東大院工 <sup>2</sup> ) ○小池太智 <sup>1,2</sup> ・伊藤慧典 <sup>1</sup> ・石田真太郎 <sup>1</sup> ・岩本武明 <sup>1</sup>
O-36	9:18 - 9:36	光学活性ジアザトリプチセンの合成と酸による三変数 CPL スイッチングおよび分子集合体特性 (兵庫県立大院理 <sup>1</sup> ・関学大院理 <sup>2</sup> ) ○井上僚 <sup>1</sup> ・青木敦士 <sup>2</sup> ・吾郷友宏 <sup>1</sup> ・森崎泰弘 <sup>2</sup>
O-37	9:36 - 9:54	Early Transition Metal Complexes Possessing X-Type Group 13 Element Ligands (Department of Chemistry, School of Science, Institute of Science Tokyo) ○Zatsepin Pavel・Makoto Yamashita
O-38	9:54 - 10:12	ラジカル的直接置換反応を用いた多環式複素環合成と反応速度論的研究 (山口大学) ○上村明男
	10:12 - 10:25	休憩
座長	俣野善博	(新潟大学)
O-39	10:25 - 10:43	ピンサー型配位子を持つ有機ビスマス(I)錯体による $sp^2$ C-F 結合の触媒的脱フッ素水素化反応の理論的研究 (North-East Normal Univ. <sup>1</sup> ・京大 iCeMS <sup>2</sup> ) 朱博 <sup>1</sup> ・○榊茂好 <sup>2</sup>
O-40	10:43 - 11:01	系中で発生させたシリルカチオンとアルキンとの反応：ベンゾシリル誘導体の生成 (群大院理工 <sup>1</sup> ・宮崎大教育 <sup>2</sup> ) ○川島隆幸 <sup>1</sup> ・有井秀和 <sup>2</sup>
	11:01 - 11:15	休憩
座長	时任宣博	(京都大学)
I-3	11:15 - 12:00	ホウ素と窒素の協調にもとづいた光機能性共役分子の開発 (兵庫県立大院理) ○吾郷友宏
	12:00 - 13:20	昼食

座長	佐藤総一	(東洋大学)
O-41	13:20 - 13:38	ケイ素化合物を用いるリン酸類の一段階エステル化反応：下水汚泥焼却灰のケミカルリサイクル (産総研 <sup>1</sup> ・JST さきがけ <sup>2</sup> ・北海道大学 <sup>3</sup> ・東京科学大学 <sup>4</sup> ) ○永繩友規 <sup>1,2</sup> ・坂本圭 <sup>1</sup> ・藤田玲 <sup>1</sup> ・森本和也 <sup>1</sup> ・Ratanasak Manussada <sup>3</sup> ・長谷川淳也 <sup>1,3</sup> ・吉田勝 <sup>1</sup> ・佐藤一彦 <sup>1</sup> ・中島裕美子 <sup>1,4</sup>
O-42	13:38 - 13:56	シリルおよびゲルミル(アリール)チオケトンの反応性:室温で進行するベンゼン環の脱芳香族化 (学習院大理) ○増田涼介・黒木大生・齋藤拓武・草間博之
O-43	13:56 - 14:14	メビウス $\sigma$ 芳香族性を有する化合物の設計 (埼玉大院理工) 宮沢涼平・○斎藤雅一
O-44	14:14 - 14:32	樹脂担持セレノペプチド試薬の創製と機能開発 (東海大理 <sup>1</sup> ・東海大院理 <sup>2</sup> ・東海大先進生命研 <sup>3</sup> ) ○岩岡道夫 <sup>1,2,3</sup> ・前瀬優杏 <sup>2</sup> ・福澤志歩 <sup>2</sup> ・片山歓多 <sup>1</sup>
	14:32 - 14:40	休憩
座長	石田真太郎	(東北大学)
O-45	14:40 - 14:58	ミュオンビームを用いる常磁性含窒素複素環分子の創出 (東京科学大物質理工 <sup>1</sup> ・TRIUMF <sup>2</sup> ) ○伊藤繁和 <sup>1</sup> ・岩見和樹 <sup>1</sup> ・小嶋健児 <sup>2</sup> ・Iain McKenzie <sup>2</sup>
O-46	14:58 - 15:16	ホウ素ラジカルを用いた光触媒的脱シアノ化反応 (名工大院工) ○安川直樹・吉田悠人・岡田和佳・小幡航希・中村修一
O-47	15:16 - 15:34	ピロール縮環アザナノグラフェンの合成と電子物性 (愛媛大院理工 <sup>1</sup> ・愛媛大 ADRES <sup>2</sup> ) ○高瀬雅祥 <sup>1</sup> ・和多海斗 <sup>1</sup> ・江口雄介 <sup>1</sup> ・森重樹 <sup>2</sup> ・奥島鉄雄 <sup>1</sup> ・宇野英満 <sup>1</sup>
	15:34 - 16:00	閉会式・表彰

## ポスター

- P-001\* 励起 DBTSO を酸化剤とした  $\alpha$ -置換スチレンの酸化的開裂反応  
(京大院理) ○丹羽優人・前島咲・依光英樹
- P-002\* 長波長光によるアルコキシラジカルの発生と典型元素導入反応の開発  
(東大院薬) ○飯室遙香・永島佑貴・内山真伸
- P-003 Selectfluor/HF 反応剤による 1,1-ジアリールエテンのトリフッ素化反応及び反応機構的考察  
(佐賀大理工<sup>1</sup>・ダイキン工業<sup>2</sup>) ○北村二雄<sup>1</sup>・小山田重蔵<sup>1</sup>・東昌弘<sup>2</sup>・岸川洋介<sup>2</sup>
- P-004\* ニッケル触媒による 2-ヨードアルキニルベンゼン、ジシラチアン、イソシアニドからの新規ヘテロ環合成  
(東理大創域理工) ○西駄駿・池田玲央・石田健人・荻原陽平・坂井教郎
- P-005 ジシリルベンゼン骨格をもつジシラ- $\beta$ -ヨノンの合成と共役系の拡張  
(法政大院理工<sup>1</sup>・法政大生命<sup>2</sup>) ○高橋友希<sup>1</sup>・河内敦<sup>2</sup>
- P-006\* 種々の軸配位子を有するアンチモン (V) ジピリン錯体の合成と性質  
(兵庫県立大院理<sup>1</sup>・茨城大院理工<sup>2</sup>・筑波大数理物質<sup>3</sup>) ○盛山遼<sup>1</sup>・井上僚<sup>1</sup>・久保和也<sup>1</sup>・吾郷友宏<sup>1</sup>・盛田雅人<sup>2</sup>・鍋島達弥<sup>3</sup>
- P-007 置換基配列の異なるテトラシランの構造と物性評価  
(法政大院理工<sup>1</sup>・広島大院先進理工<sup>2</sup>・法政大生命<sup>3</sup>) ○府川将也<sup>1</sup>・今榮一郎<sup>2</sup>・河内敦<sup>3</sup>
- P-008\* 銅触媒を用いたビニルシランの光化学的アルキルマグネシウム化反応  
(京大院理) ○阿部ほのか・下川淳・依光英樹
- P-009\* トリアルキルホスフィンとイソシアニドの光触媒反応によるイミドイルホスホニウム塩の合成  
(北大理<sup>1</sup>・WPI-ICReDD<sup>2</sup>) ○櫻田彩佳<sup>1</sup>・増田侑亮<sup>1</sup>・澤村正也<sup>1,2</sup>
- P-010\* 光分解性ナイロン 66 の開発に向けた構造設計と分解挙動の検討  
(山口大工) ○根間祐輔・新田恭之・大山真賢・西形孝司
- P-011\* 5員環骨格をもつ水溶性 trans-3,4-ジヒドロキシカルコゲノランの合成と 2 位への官能基導入  
(東海大院理<sup>1</sup>・東海大理<sup>2</sup>・東海大先進生命研<sup>3</sup>) ○高見隆翔<sup>1</sup>・高松瑞穂<sup>1</sup>・サムエル愛生イケンナ<sup>1</sup>・岩岡道夫<sup>1,2,3</sup>
- P-012\* トレオース骨格をもつセレノヌクレオシド誘導体のエナンチオマーの合成と GPx 様触媒活性の評価  
(東海大院理<sup>1</sup>・東海大理<sup>2</sup>・東海大先進生命研<sup>3</sup>) ○高松瑞穂<sup>1</sup>・サムエル愛生イケンナ<sup>1</sup>・高見隆翔<sup>1</sup>・岩岡道夫<sup>1,2,3</sup>

- P-013\* 光学活性 P キラルホスホン酸誘導体の網羅的合成を指向した『P(III)キラル試薬』の開発  
(東北大院理) ○加藤拓郎・寺田真浩・近藤梓
- P-014\* 硫黄を配向基とするアラインの銅触媒二量化ヘテロアリールスタニル化反応  
(広島大院先進理工) ○稻荷泰平・中本真晃・対馬拓海・吉田拡人
- P-015\* フコース連結ホウ素クラスターを用いた高 CA19-9 がんのホウ素中性子捕獲療法  
(岡山大院環境生命自然科学<sup>1</sup>・岡山大工<sup>2</sup>・岡山大中性子医療センター<sup>3</sup>)  
○亀井薫<sup>1</sup>・藤田泰河<sup>1</sup>・高山莉里<sup>2</sup>・金平典之<sup>3</sup>・道上宏之<sup>3</sup>・田嶋智之<sup>1</sup>
- P-016\* 非対称アルシンの合成を指向した新規ジアルサン合成法の開発  
(京工織大院工芸) ○大河内千絵・隅田滉史・井本裕顕・中建介
- P-017 新規なチオもしくはセレノピリリウム塩の合成と性質  
(福岡大理) ○渡邊悠月・長洞記嘉
- P-018 ホウ素置換シリルリチウムと種々の有機基質との反応  
(法政大院理工<sup>1</sup>・法政大生命<sup>2</sup>) ○門田侑也<sup>1</sup>・河内敦<sup>2</sup>
- P-019\* 単離可能なジアルキルジシリコンとアジド化合物との環化付加反応  
(東北大院理) ○豊岡拓斗・石田真太郎・岩本武明
- P-020 難燃性及び断熱性向上に有効なホスファゼン誘導体の開発  
(相模中研<sup>1</sup>・東ソー<sup>2</sup>) ○森迫祥吾<sup>1</sup>・松本周也<sup>1</sup>・坂部将仁<sup>1</sup>・中嶋佑平<sup>2</sup>・磯田恭佑<sup>1</sup>
- P-021\* フェナントロリン誘導体の脱芳香族化反応による近赤外領域に吸収を持つキノイド化合物の合成  
(東北大学院理) ○桑原希武・石田真太郎・岩本武明
- P-022\* 多様な置換基に対応するモノハロゲン化ヒ素化合物の合成法開発  
(京工織大院工芸) ○山本海星・隅田滉史・井本裕顕・中建介
- P-023\* [5]チアヘテロヘリセン誘導体の効率的な合成法と物性  
(和歌山大院システム工) ○山本泰誠・大須賀秀次
- P-024\* アルコキシ基置換π拡張アルシンの合成  
(京工織大院工芸) ○高津恭祐・大河内千絵・隅田滉史・井本裕顕・中建介
- P-025 レドックス応答性を有する機能性ポリセレノシクロファンの合成戦略  
(近畿大院総理工<sup>1</sup>・近畿大理工<sup>2</sup>) ○柿坪蒼<sup>1</sup>・仲程司<sup>1,2</sup>
- P-026 ランタノイドイオンを触媒とする高効率ジスルフィド結合生成反応  
(阪大院理) ○三枝栄子・鈴木理子・三宅弘之・篠田哲史
- P-027\* 2,2'-ビ(1-ホスフアナフチル)の合成と構造  
(学習院大理) ○森下豪・宮崎誠也・高橋慎太郎・狩野直和
- P-028\* ヒ素配位子-多核 Cu(I)錯体の蒸気駆動構造変換  
(京都工芸織維大学) ○木根勇人・菊池一楨・岩本貴寛・井本裕顕・中建介
- P-029 光駆動有機テルル触媒を用いたハロゲン化アリールのポリル化  
(九大院薬) ○車田怜史・丹羽節

P-030\*

カルボランスルフィド触媒を用いたアリールシランのイプソ位ハロゲン化反応  
(阪大院工) ○荻窪征伸・西井祐二・平野康次

P-031\*

安定ジアルキルオキソホスホニウムイオンの合成研究  
(東北大院理) ○川城翔・石田真太郎・岩本武明

P-032

歪んだアントラセン部位を有する Buchwald 型配位子の配位挙動と歪みの相関  
(奈良女子大理) ○岩井健人・角田恵真・中島隆行

P-033

$N^aO$  および  $N^aN$  型トロポン配位子を有するホウ素錯体の合成と円偏光発光特性  
(日大生産工<sup>1</sup>・近大院総理工<sup>2</sup>) ○田中虎南<sup>1</sup>・板山葉也<sup>1</sup>・鈴木太哉<sup>2</sup>・  
池下雅広<sup>1</sup>・今井喜胤<sup>2</sup>・津野孝<sup>1</sup>

P-034

ジカテコラトゲルマニウム(IV)への含窒素架橋配位子の添加実験  
(鳥取大院工<sup>1</sup>・産総研<sup>2</sup>) ○工藤蓮<sup>1</sup>・山口敦也<sup>1</sup>・田中柊斗<sup>1</sup>・南条真佐人<sup>1</sup>・  
吉田勝<sup>2</sup>

P-035\*

シアノアレーンを CN 源、第三級アミンをアルキル基源とした第一級アミンの  
酸化を経る光触媒 Strecker 反応  
(阪大院工) 高橋亮太・○江口由真・西本能弘・安田誠

P-036\*

ベンゾビス(ジセレネット)誘導体の合成、構造および反応  
(埼玉大院理工) ○茂木亮太朗・斎藤雅一

P-037\*

キラルジカルボン酸型相間移動触媒を用いたエナンチオ選択的脱芳香族フッ素  
化反応  
(兵庫県大院理) ○桃井陸翔・松林祐希・杉田陽渡・藤原杏輔・三宅由寛・  
下垣実央

P-038

フッ素置換ジベンゾスチボール誘導体の合成とニクトゲン結合能の評価  
(静岡大教<sup>1</sup>・東洋大理工<sup>2</sup>・東洋大院理工<sup>3</sup>) ○坂部将仁<sup>1,2</sup>・横塚駿吾<sup>2</sup>・  
佐藤総一<sup>2,3</sup>

P-039\*

ビスホスフィンのシップ塩基型環状多量体およびその多核錯体の合成研究  
(筑波大院数理物質<sup>1</sup>・筑波大数理物質<sup>2</sup>) ○椎名彩斗<sup>1</sup>・中村貴志<sup>2</sup>

P-040\*

ジピリンホウ素錯体を置換基としてもつアミドシクロデキストリンの合成と機  
能探索  
(筑波大院数理物質<sup>1</sup>・筑波大数理物質<sup>2</sup>) ○日置なな実<sup>1</sup>・中村貴志<sup>2</sup>

P-041

亜鉛ポルフィリンケージの合成と直径3nmの内部空間における金属イオン集積  
(筑波大院数物) ○大澤皓成・三原のぞみ・志賀拓也・二瓶雅之

P-042\*

$N,N$ -ジハロスルホンアミドを活用する C(sp<sup>3</sup>)-H 結合のアミジン化反応  
(阪大院工) ○杉澤杏実・南方聖司

P-043\*

積層芳香族单分子接合の伝導特性に関する理論的研究  
(筑波大理工<sup>1</sup>・筑波大数理<sup>2</sup>) ○中原未来<sup>1</sup>・岡澤一樹<sup>2</sup>・八木清<sup>2</sup>

P-044\*

高度にフッ素化されたカチオン性ホスフィンの開発  
(千葉工大院工) ○櫻井佳那・中原瑛梨奈・高井慎太郎・原口亮介

P-045

魚型縮環ホスフィン-金(I)錯体の合成と金クラスター形成過程の原子分解能実時間観察

(埼玉大院理工<sup>1</sup>・NIMS<sup>2</sup>・東科大 ASMat<sup>3</sup>) ○狩野太暉<sup>1</sup>・丸山武行<sup>1</sup>・原野幸治<sup>2,3</sup>・斎藤雅一<sup>1</sup>・古川俊輔<sup>1</sup>

P-046\*

14族および15族が置換したセレノアミドおよびテルロアミドの合成および反応性

(学習院大理) ○矢野珠己・増田涼介・草間博之

P-047

キラルスピロシランジオールを用いたポリウレタンの合成と熱分解挙動  
(北里大理) ○梶山和政・福岡今日子・弓削秀隆

P-048

チオアミド誘導体を用いた環境調和型チアゾール合成法

(高知大院総合) ○小幡亘生・吉永有佑・昌本麗・山本淳史・金野大助

P-049\*

ドデカハイドロ-*closo*-ドデカボレートのトリフルオロメチル化

(岡山大院環境生命自然科学<sup>1</sup>・岡山大工<sup>2</sup>) ○佐藤圭悟<sup>1</sup>・中村駿斗<sup>1</sup>・長島大智<sup>1</sup>・荻野晴名<sup>2</sup>・田嶋智之<sup>1</sup>

P-050\*

分子内にスルフィド部位を有するフェロセニルホスフィン誘導体の合成

(筑波大院数理物質<sup>1</sup>・筑波大数理物質<sup>2</sup>・TREMS<sup>3</sup>) ○近藤楓汰<sup>1</sup>・菅又功<sup>1,2,3</sup>・笛森貴裕<sup>1,2,3</sup>

P-051\*

4,4',5,5'-置換ビフェニリレン配位子を有する  $\lambda^4$ ,  $\lambda^6$ -テランの合成

(東洋大院理工<sup>1</sup>・東洋大理工<sup>2</sup>・静岡大教<sup>3</sup>) ○棄原陸<sup>1</sup>・山田祥太郎<sup>2</sup>・坂部将仁<sup>2,3</sup>・佐藤総一<sup>1,2</sup>

P-052\*

多置換ピロロ[3,2-*b*]ホスホールオキシドのモジュラー合成

(東北大院理) ○武田祐太・寺田真浩・近藤梓

P-053\*

メチル基を有するヘキサチアアダマンタン(HTA)誘導体の合成と脱メチル化反応

(東洋大院理工<sup>1</sup>・東洋大理工<sup>2</sup>・都立大理<sup>3</sup>・静岡大教<sup>4</sup>) ○藤井望<sup>1</sup>・千野浩輝<sup>3</sup>・西川実聰<sup>2</sup>・畔柳匠<sup>2</sup>・浜森恒輝<sup>2</sup>・三原悠来<sup>2</sup>・磯遙斗<sup>2</sup>・坂部将仁<sup>2,4</sup>・佐藤総一<sup>1,2</sup>

P-054\*

配位部位としてケイ素を有する二座配位子の合成

(東洋大院理工<sup>1</sup>・静岡大教<sup>2</sup>) ○工藤裕太<sup>1</sup>・坂部将仁<sup>1,2</sup>・佐藤総一<sup>1</sup>

P-055\*

TMB配位子を有する新規  $\lambda^4$ ,  $\lambda^6$ -セランの合成とその構造

(東洋大院理工<sup>1</sup>・静岡大教<sup>2</sup>) ○山本勇人<sup>1</sup>・坂部将仁<sup>1,2</sup>・佐藤総一<sup>1</sup>

P-056\*

生体内で利用可能な新規 SIK3 選択的活性化剤の創製研究

(筑波大院数理物質<sup>1</sup>・筑波大睡眠研究機構(WPI-IIIS)<sup>2</sup>・筑波大院ヒューマニクス<sup>3</sup>・藤田医科大学 Mind-BRIDGe<sup>4</sup>) ○中村賢志郎<sup>1,2</sup>・須貝智也<sup>1,2</sup>・西田彗<sup>2,3</sup>・石川有紀子<sup>2</sup>・Salina Neupane<sup>2,3</sup>・池田恵美<sup>1,2</sup>・上田壮志<sup>2,4</sup>・柳沢正史<sup>2,3</sup>・沓村憲樹<sup>1,2,3</sup>



- P-057\* トシリ酸触媒による Si-O-Si 結合開裂を伴うモノメトキシシランの合成  
(関西大化学生命工<sup>1</sup>・株式会社レゾナックエレクトロニクス事業本部開発センター封止材料開発部<sup>2</sup>) 形山暢紀<sup>1</sup>・○谷岡悠貴<sup>1</sup>・篠原優月<sup>1</sup>・中村真也<sup>2</sup>・大洞康嗣<sup>1</sup>
- P-058 アザポルフィリンを配位子とするケイ素およびスズ錯体の合成と物性  
(新潟大院自然<sup>1</sup>・新潟大理<sup>2</sup>) 佐々木幹太<sup>1</sup>・○俣野善博<sup>2</sup>
- P-059 ビスマストリフラート担持触媒の調製およびフェノールとアリルアルコールを用いた環化反応への展開  
(山形大院理工) ○皆川真規
- P-060 グラフ理論に基づく单分子接合の量子干渉予測法: ヘテロ原子系および非交互炭化水素系への拡張  
(筑波大数理物質) ○岡澤一樹・八木清
- P-061\* RNA 2' 位水酸基を介したケトンの効率的導入とオキシムライゲーション反応  
(筑波大院数理物質<sup>1</sup>・スタンフォード大学<sup>2</sup>) ○塩井隆太<sup>1</sup>・Lu Xiao<sup>2</sup>・Linglan Fang<sup>2</sup>・Eric T. Kool<sup>2</sup>・沓村憲樹<sup>1</sup>
- P-062\* ホウ素架橋による縮合環構造の直接的構築とラダーオリゴマーの光学特性  
(京大院理) ○内田峻太・儘田正史・畠山琢次
- P-063\*  $\alpha$ -シクロデキストリン存在下におけるドデカハイドロ-*closo*-ドデカボレートのジフルオロ化反応  
(岡山大院環境生命自然科学<sup>1</sup>・岡山大工<sup>2</sup>) ○長島大智<sup>1</sup>・中村駿斗<sup>1</sup>・佐藤圭悟<sup>1</sup>・荻野晴名<sup>2</sup>・田嶋智之<sup>1</sup>
- P-064\* アントラセンをプラットフォームとする  $\sigma$  非局在電子系の拡張  
(埼玉大院理工<sup>1</sup>・立教大理<sup>2</sup>) ○高橋櫻<sup>1</sup>・小林大晃<sup>1</sup>・古川俊輔<sup>1</sup>・箕浦真生<sup>2</sup>・斎藤雅一<sup>1</sup>
- P-065\* 新奇なかさ高い Rind 基の開発とテトリレンの合成研究  
(近畿大理工) ○今井瑞紀・上野優斗・太田圭・松尾司
- P-066 ホスファボラタトリプチセン骨格を有するベタインと 1,2-オキサホスフェタンの平衡の観測と DMAD との反応  
(北里大理) ○内山洋介・山岸正太郎・安川拓哉
- P-067\* キラルなポルフィリンチューブの合成と集積化  
(筑波大院数物) ○長島壯汰・三原のぞみ・志賀拓也・二瓶雅之
- P-068\* ゲルミリウムイリデンカチオンの合成と反応  
(近畿大理工<sup>1</sup>・理研 CEMS<sup>2</sup>) ○奥田智久<sup>1</sup>・生馬翔太郎<sup>1</sup>・橋爪大輔<sup>2</sup>・太田圭<sup>1</sup>・松尾司<sup>1</sup>
- P-069\* 環境応答性  $\lambda^5$ -ホスフィニンの開発  
(愛媛大院理工) ○中村健人・米田英聖・太田英俊・林実
- P-070\* ジルコナシクロペンタジエン類縁体とハロゲン化インジウムとの反応による含インジウム中員環化合物の合成  
(群馬大院理工) ○田中孝征・村岡貴子

P-071

单層カーボンナノチューブ内包を指向したジフェロセニルジメチルスタンナンの合成

(岡山大院環境生命自然科学<sup>1</sup>・岡山大工<sup>2</sup>) ○新谷凌馬<sup>1</sup>・神谷泰地<sup>1</sup>・藤本捷矢<sup>2</sup>・田嶋智之<sup>1</sup>

P-072\*

ポリシリセスキオキサンを用いた新規高耐熱性断熱材の開発

(広島大院先進理工系<sup>1</sup>・マツダ(株)<sup>2</sup>) ○筒井皓脩<sup>1</sup>・森田泰博<sup>1,2</sup>・古賀広之<sup>1,2</sup>・安達洋平<sup>1</sup>・大下淨治<sup>1</sup>

P-073\*

分子アクチュエーターを組み込んだポリマーナノチューブの創製

(近畿大院総理工<sup>1</sup>・近畿大理工<sup>2</sup>) ○菅原清人<sup>1</sup>・仲程司<sup>1,2</sup>

P-074\*

ジアリールテルリウムジカルボキシラートを用いた Baeyer-Villiger 酸化

(東海大学大学院理学研究科化学専攻<sup>1</sup>・東海大学理学部化学<sup>2</sup>) ○来間元<sup>1</sup>・小口真一<sup>2</sup>

P-075

$\pi$ 拡張サレン型配位子を有する亜鉛錯体の合成と円偏光発光特性

(日大院生産工<sup>1</sup>・近大総理工<sup>2</sup>・日大生産工<sup>3</sup>) ○古藤美海<sup>1</sup>・鈴木太哉<sup>2</sup>・今井喜胤<sup>2</sup>・池下雅広<sup>3</sup>・津野孝<sup>3</sup>

P-076\*

セレノプロテイン生合成に関わるシステイン由来活性中間体のモデル研究

(Science Tokyo 理) ○濱谷天音・工藤嵐・鍬野哲・後藤敬

P-077\*

酸素、硫黄供与性配位子を有するハフニウム錯体による高分子量共重合体の合成

(埼玉大院理工) ○川島杏梨・石井昭彦・中田憲男

P-078

キラル大環状サレン六核ホウ素錯体の合成と光学特性

(日大院生産工<sup>1</sup>・日大生産工<sup>2</sup>) ○富塚陸斗<sup>1</sup>・池下雅広<sup>2</sup>・津野孝<sup>2</sup>

P-079\*

パラジウム触媒を用いたケイ素上の炭素置換基交換反応

(阪大院理<sup>1</sup>・JST さきがけ<sup>2</sup>) ○山中佳太朗<sup>1</sup>・大石貴太<sup>1</sup>・虫明陽大<sup>1</sup>・松坂裕之<sup>1</sup>・亀尾肇<sup>1,2</sup>

P-080\*

ダブルセレンと発色団のサンドイッチ型スルースペース相互作用を活用した有機りん光の増強

(電通大院情報理工) ○宮下凌羽・志村理玖・平田修造

P-081\*

分子キャビティを活用した S-ニトロソチオールおよび関連化合物の酸化反応に関する機構的研究

(Science Tokyo 理) ○岸田武義・井手上拓・鍬野哲・後藤敬

P-082\*

炭素およびケイ素芳香族三員環化合物の気相紫外分光: 芳香環  $\pi$   $\pi^*$ 遷移に対する電荷/配位子の効果

(広島大院先進<sup>1</sup>・近畿大理工<sup>2</sup>) ○小山雅大<sup>1</sup>・太田圭<sup>2</sup>・松尾司<sup>2</sup>・村松悟<sup>1</sup>・井口佳哉<sup>1</sup>

P-083\*

ホウ素含有芳香族化合物の合成を指向したボラピラミダンの新展開

(広島大院先進理工) ○佐藤颯・山口正晶・対馬拓海・吉田拡人・中本真晃

P-084

ガリレンとジアゾオレフィンの反応によるガラアレンの合成研究

(東京科学大学) ○Tao Ding・山下誠

- P-085\* スルホニルアニリドのモジュラー合成法の開発と新規インドール合成への応用  
 (東理大院先進工) ○奥ノ菌大輝・中村圭佑・小林瑛宏・吉田優
- P-086 ベンジルスルホンを出発原料に用いたオキソ[7]サーキュレンの合成  
 (岡山理大工) ○折田明浩・岩倉旭良・松永至恩・酒見俊輝・奥田靖浩
- P-087\* 電気陰性な置換基をもつ新規テトリレンの合成検討  
 (お茶大院人間文化) ○下垣内理世・桑原拓也
- P-088\* ジチエノホスフィニン骨格を有するカチオン性電子回収単分子膜材料の開発  
 (京大化研<sup>1</sup>・Department of Chemistry, York University<sup>2</sup>) ○坂本知優<sup>1</sup>・  
 Ammar Hussein<sup>2</sup>・平翔太<sup>1</sup>・Richard Murdey<sup>1</sup>・Minh Anh Truong<sup>1</sup>・中村智也<sup>1</sup>・  
 Thomas Baumgartner<sup>2</sup>・若宮淳志<sup>1</sup>
- P-089\* 16族元素の原子半径を利用したハロゲン結合性超分子の平面性制御と発光特性  
 (茨大院理工) ○菊入優里・福元博基・盛田雅人
- P-090\* 新奇光活性ボラート塩の合成と光物性およびアニオン性光触媒機能の評価  
 (北海道大学大学院生命科学院<sup>1</sup>・北海道大学触媒科学研究所<sup>2</sup>) ○石丸北都<sup>1</sup>・  
 浦口大輔<sup>2</sup>
- P-091\* セレノメチオニン誘導体の酸化・脱離によるビニルグリシン誘導体の合成  
 (産総研<sup>1</sup>・筑波大数理物質<sup>2</sup>・京都大院薬<sup>3</sup>) ○坂本一馬<sup>1,2</sup>・明野純也<sup>1,3</sup>・  
 上田善弘<sup>1,2</sup>
- P-092\* キナクリドン骨格を有するMR-TADF材料における構造-物性相関  
 (京大院理) ○岡野崇史・松室雄大・越智純毅・儘田正史・畠山琢次
- P-093\* 2,6-ジアリールアズレンの合成と発光特性  
 (東京電機大院工) ○武田知昂・齋藤彪伽・山本哲也
- P-094 4中心7電子結合を有するホスフィンラジカルカチオン化合物の気相構造評価：  
 電子状態と安定性  
 (広島大院先進<sup>1</sup>・ソウル大<sup>2</sup>) 小山雅大<sup>1</sup>・○村松悟<sup>1</sup>・Gyeongho Ham<sup>2</sup>・  
 Sangmin Kim<sup>2</sup>・井口佳哉<sup>1</sup>
- P-095\* シクロブタジエンと炭素原子等価体との反応によるピラミダン合成検討  
 (広島大院先進理工) ○大田蓮人・今川大樹・対馬拓海・吉田拡人・中本真晃
- P-096\* ジベンゾシレピン骨格を基軸とした超共役的反芳香族化合物におけるカウンターカチオン効果  
 (お茶大院人間文化) ○小林加奈・桑原拓也
- P-097\* 高配位化シリリウム塩の創製と光触媒機能評価  
 (北大院生命科学<sup>1</sup>・北大触媒研<sup>2</sup>) ○大塚隆馬<sup>1</sup>・浦口大輔<sup>2</sup>
- P-098\* カルボニル基及びチオカルボニル基を有する立体混雑したトリアリールホスフィンの合成と性質  
 (東北大院理) ○高田直輝・佐々木茂・豊田耕三
- P-099\* Al-Mg反応剤の合成と反応性  
 (科学大理) ○石畠誠士・山下誠



P-100\*

ピリミジン誘導体を用いた低次元ペロブスカイトの合成と物性

(京大化研) ○Cho Woojin・長谷川晃央・Chen Chien-Yu・中村智也・

Truong Minh Anh・Murdey Richard・若宮淳志

P-101\*

トリフェニルホスフィン及び三ヨウ化物イオンからなる新規室温りん光錯体

(茨城大院・理工学) ○吉野陸・福元博基・盛田雅人

P-102\*

π発色団への硫黄スルースペースユニットの小型化に伴う有機りん光の増強

(電通大情報理工学域<sup>1</sup>・電通大院情報理工<sup>2</sup>) ○奥山晃希<sup>1</sup>・平田修造<sup>2</sup>

P-103\*

ホウ素修飾チチバビン炭化水素の合成と物性

(名大院理<sup>1</sup>・名大IRCCS<sup>2</sup>・名大ITbM<sup>3</sup>) ○佐野嘉治<sup>1</sup>・森達哉<sup>2</sup>・山口茂弘<sup>1,2,3</sup>

P-104

カルコゲン置換トリアリールボランの発光特性

(名大IRCCS<sup>1</sup>・名大院理<sup>2</sup>・電通大院情報理工<sup>3</sup>・名大ITbM<sup>4</sup>) ○森達哉<sup>1</sup>・

山崎伶真<sup>2</sup>・上田朔也<sup>3</sup>・平田修造<sup>3</sup>・山口茂弘<sup>1,2,4</sup>

P-105\*

Pyropheophorbide *a* の水中での自己凝集挙動に関する研究

(筑波大数理物質) ○正角優吏・安田りりあ・石橋孝章・百武篤也

